
「集中治療室における身体拘束最小化に関する研究～身体拘束解除フローシート導入による身体拘束実施率の変化～」に関するお知らせ

このたび、当院に入院した患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2024 年 5 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日の期間に埼玉医科大学病院 ICU 病棟に入室した患者さんのうち、年齢・せん妄リスク・重症度等の患者背景が可能な限り均等となる各 2 カ月間を選定します。その 2 カ月間に入院した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

ICU における身体拘束最小化を目的として導入した身体拘束解除のフローチャートの取り組み効果を、導入前後の身体拘束実施率の比較により検証することを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2028 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2026 年 8 月 17 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

- ・ 年齢
- ・ 性別
- ・ CAM-ICU（せん妄評価）
- ・ RASS（鎮静深度評価）、GCS（意識レベル評価）
- ・ 人工呼吸器管理の有無
- ・ SOFA スコア（重症度評価）
- ・ 身体拘束期間（日数）
- ・ 身体拘束解除時間（1 日あたりの解除時間）
- ・ 身体拘束に関するカンファレンスの実施状況

- ・ ICU 入室期間（日数）
- ・ 身体拘束アセスメントスコア

2. 試料・情報の取得方法

研究終了後、電子データは USB に記録し、自部署のパスワード保護された端末にて保管します。診療記録は埼玉医科大学病院の定めに則り、保管を継続します。対応表は、ICU 病棟にて保管し、保管期間は、研究終了報告後 5 年間又は研究結果の最終公表後 3 年間とします。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学病院 ICU 伊藤綾音（研究責任者）
- ・ 埼玉医科大学病院 集中治療科 喜屋武玲子
- ・ 埼玉医科大学病院 看護部副部長 鈴木 彦太
- ・ 埼玉医科大学病院 クリティカルケア認定看護師 立花奈緒美（支援者）
- ・ 埼玉医科大学病院 ICU 西村若葉

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

5. 試料・情報の提供方法等について

該当しません。

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 ICU 伊藤綾音（担当者氏名）

住所：〒350-0451 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1316（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：集中治療室における身体拘束最小化に関する研究

○研究責任（責任）者：埼玉医科大学病院 ICU 病棟 伊藤綾音